

元気な街づくりと環境視察

山口 廣子

21年6月17日(水)広報委員会で厚木シロココ&リサイクル工場見学を実施しました。

視察の前に伊勢原の日向薬師に立ち寄りしました。老杉の大樹と苔むした参道を登ると山門には鎌倉時代の仏師の作とされる仁王像があり、宝物殿には山伏が鉦だけで彫った薬師三像が納められ日本3大薬師のひとつで貴重な文化財だそうです。

お昼にはB級ご当地グルメの祭典でグランプリ受賞した元気のある街づくりを推し進めている厚木シロココ・ホルモン探検隊をたずねました。厚木シロココホルモン焼、千代乃さんではフードバトル探検隊員のお二人から説明を受けました。「新しい物でなくていい、前からある物に気づく、何が発掘する、方向性同じくしてお金をかけない」。などユーモアたっぷりに熱く話してくれました。「この熱意と、迫力だ!」と感心しました。

第41回 全国商工会議所女性会連合会 長野全国大会

成川まさ子

平成21年9月4日(金)に長野県エムウェーブに於いて開催され、全国より3,300名が参加しました。長野市善光寺は今年7年に一度の御開帳の年に当り、多数の皆様が御来訪され、信州の豊かな自然、伝統文化、食文化にふれて、長野市の歴史を再発見出来たのではないのでしょうか。

記念講演会には、医師で作家の鎌田實氏が「幸せの探し方教えます」と言う演題で講演されました。御自身の生い立ちをお話しながら逆境にめげず信念を貫いて生きた鎌田氏の人柄にふれ、実年齢より少し上に見えたのは会場の皆様も感じられたのではないかと思います。物やお金、健康でない何かがあ、大切なのは、誰かの為に生きる、温かくするとブーメランのようにいつか戻って来ると言う



3,300名で会場がいっぱい

あとがき

足跡の記録をみていると、行間からにじみ出てくるあのこと、このことが想い出されます。各委員会の並々ならぬ汗の結晶が美しく思われ、女性委員会を誇らしく感じます。これからも楽しい仲間づくりをしていきましょう。



広報委員長 吉原洋子
副委員長 山口廣子
委員 判治君代、中村光子、森裕子

午後はリサイクル事業を展開するベストトレーディング社の工場見学でした。空き飲料容器の再資源化処理および再生資源物の販売をスライドを使ってわかりやすく説明してくれました。私たちにできることは廃食油を捨てないでリサイクルにまわすこと、バイオディーゼル燃料の利用を推進しているということでした。石油を使わないで地球温暖化の原因であるCO₂を増やさないことが結果的にはバイオ燃料のメリットであるということです。同社では「障がい者」の方が生きがいを持って社会で活躍できる環境の整備を目指していて、現場でも素晴らしい力を発揮されていると伺いました。環境諸問題について知識を得るよい機会となりました。

隊長と名物店主 ▶



◀ 説明に聞いている会員

言葉がとても印象に残っています。

懇親会では信州の料理を味わった後、宿泊地の上山田温泉に行きました。翌日は快晴に恵まれ黒部ダムのクルージングを楽しみ、会員の親睦も深まった思い出多い全国大会になりました。

新入会員紹介

矢部で美容室パルチェを経営しております山口典子と申します。『水にこだわる、髪に優しい美容室』をコンセプトに、高品質なサービスをリーズナブルな価格でご提供することを使命として、弱酸性材料や塩素除去・軟水機の設置など髪への優しさにこだわりをもって営業しております。よろしく願いいたします。

ヘアスタイリングサロン パルチェ
山口 典子

矢部 4-15-1
電話 042-757-9112



～ 目 次 ～

会長挨拶	1	第37回 通常総会	3
CICR(インドシナ難民の明日を考える会)との出会い	1	道州制について学びましょう!	3
第40回 全国商工会議所 女性会連合会 沖縄全国大会	2	元気な街づくりと環境視察	4
チャリティーカレンダー実施	2	第41回 全国商工会議所 女性会連合会 長野全国大会	4
新年会	2	新入会員紹介	4
「中心子どもの家」との交流	2	事業報告	4
相模原市の将来都市像―市長とのディスカッション	3	あとがき	4
H21年度の桜まつり	3		

会長挨拶

相模原商工会議所女性会
会長 猪熊 幸江



世界的な同時不況により、私たちのおかれている環境は極めて厳しいものがあります。そんななか相模原商工会議所では中小企業への支援や雇用対策、緊急経済対策また公共事業の市内企業への優先発注の徹底を相模原市に要望書を提出したり、市内限定のプレミアム商品券の発行をし、商業の活性化につなげております。当女性会も会員との連携を図り、地域商工業の振興と社会福祉の増進に寄与することを目的に活動しており、今年度も、「環境と福祉」を掲げ女性会の重要なテーマ

CICR(インドシナ難民の明日を考える会)との出会い

代表
永瀬 一哉

それは本当に有り難い一言だった。

何年前になるだろう。もう4～5年は経っているだろうか。私達CICRが市内の空店舗をお借りしてカンボジア支援バザーをやっている時、まるで私達の心中の願いを知っていたかのような申し出を受けました。「水とトイレは自由にお使い下さい。」

声の主は女性会員のお店でした。

私達は顔を見合わせた。地域の優しさを感じて、その日一日がさわやかだった。

として各委員会を中心に事業を行い、会員増強を図りながら活動していきます。急速な景気悪化のなか、会員の皆様には女性会活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私たちもこのような背景をしっかりと見つめ、明るい展望が開けるよう時代を読み、臨機応変な対応ができるよう努力を重ねていきたいと思います。

カンボジアからの報告

女性会35周年事業として、カンボジアに行き早や2年が経ちました。カンボジアの中学校に書架と図書を寄贈しましたが、その後女性会の会員が再度訪問する事は難しく、当時お世話になったCICRの代表が毎年カンボジアに訪れているので、現在の様子をお聞きました。

その後も図書の貸し出しや管理がきちんと出来ていて、貴重な本を大事に扱っているとの報告を受けました。

これがご縁で、CICRは女性会メンバーをカンボジアにご案内する機会を得ました。平成19年11月のことでした。CICRはカンボジアの地方都市の中学校を支援していて、ちょうどその頃、図書館をプレゼントしました。だが、出来たばかりで中身(図書)がありませんでした。徐々に整備して行こうと思っているところへ、女性会から大量の書籍をご寄贈いただきました。

この中学校も随分嬉しかったようで、本を持って女性会が訪問した時の写真を今でも図書館の壁一杯貼っている。カンボジア人の感謝の思いがよく分かります。



寄贈された図書

第40回 全国商工会議所 女性会連合会 沖縄全国大会

判治 君代

平成20年11月27日(木)～29日(土)沖縄県宜野湾市の「沖縄コンベンションセンター」において全国の403女性会から2,649名の参加を得て開催されました。当女性会では13名が参加しました。1日目はメンソーレ沖縄文化が多数披露され、懇親会では沖縄料理に舌つづみ、2日目は沖縄県商工会議所女性会連合会会長の挨拶で「順調とはいえない経済、社会情勢の中、女性な

らではの感性と豊かな想像力、アイデアを結集する必要があります」と話されました。

女性会員として初めての沖縄大会の参加でしたが会場の雰囲気圧迫され、その後のエキスカージョンも充実して思い出に残る大会でした。

全国大会会場にて



チャリティーカレンダー 実 施

吉田みち代

この事業は当女性会のテーマである(環境と福祉)事業の一環として研修委員会が担当し、今年で4回目をむかえます。企業や家庭であまっているカレンダーや手帳を提供してもらい、期間中は女性会員の店舗と地域協力店にて販売し、その収益金を子ども達の教育支援福祉に役立てるための活動です。初年度からすると、今

年度は2倍近い売り上げに成り、皆様のご協力のおかげです。最近では、今年も実施しますかとの問い合わせが来るようになりました。当事業は継続的に実施しますので、カレンダーの提供にご協力を宜しくお願い致します。

店頭におかれた
カレンダー



新 年 会

木下 暉子

“ちょっとビックリ!! でも聴いて二度ビックリ
真打顔負けの噺家”
風間杜夫の落語独演会を南大沢文化会館にて1月31日(土)に行いました。
俳優の風間杜夫さんがここまで出来るのかと感心し

ました。心の中に笑いと希望を頂きまだ余韻の残る会館を後にして、次の懇親会会場に移動致しました。当会議所専務の挨拶で始まり、会長始め皆様の新しい年の抱負を聞くことが出来、会員同士の結束を深めることができました。

和やかに



「中心子どもの家」 との交流

松井 和美

当女性会のテーマ「環境と福祉」の一つとして、「中心子どもの家」に入所している子ども達と交流して来て早や三年がたちました。毎年交流のあり方として、どうやってこの子達と素敵な交わりが出来るかを考えています。私たちに出来ることとは何かと、悩みます。

今年はひな祭りにあわせて、かわいいおひなさまのケーキを持参しました。かわいい飾りに喜びの声を上げ、お

礼にひな祭りの歌を歌ってくれました。

「保護者のいない児童、虐待されている児童、その他の環境上」で入所されている子ども達が、一日も早く、明るく、心身の障害を乗り越えられるよう、将来あきらめないで、人を信じ、自ら自信を持って、社会の荒波に耐えていける能力をつちかって、立派に一社会人として巣立って欲しいと心から願っています。応援もしていきたいと思いま



かわいいお礼

相模原市の将来都市像 市長とのディスカッション

吉川優文美

3月4日(水)に加山市長をお迎えし懇談会を開催いたしました。テーマにそって政令市に向けた相模原市の取り組みについてご講演をいただきました。四委員会が課題を決め意見交換を行いました。交流委員会は「福祉について」研修委員会は「環境について」総務委員会は「工場跡地を含めた都市計画について」広報委員会は「合併後の相模原市について」と課題を分けました。

特に福祉問題と環境問題については全国商工会議所女性会とも連携して取り組んできた課題でもあり、積極的に提言をさせていただきました。スケジュール過密な市長ですが予定時間を超えてお話を伺いくださり相模原市の未来像について理解を深めた内容のある会になりました。お答えをいただかなかった諸問題については後日文章にてご回答くださいました。

熱く語る市長



H21年度の桜まつり

鷹取美和子

4月4日(土)・5日(日)の2日間、お天気にも恵まれ桜の花も一番の見頃、女性会では恒例のバザーと酒まんじゅうの販売をしました。お客さんとの会話に花を咲かせな

がら早めの完売
に素敵な笑顔が
広がりました。

行列のできる
桜まつり



第37回 通常総会

小山 照子

平成21年4月21日(火)相模原市民会館に於いて、第37回通常総会を開催しました。会長の挨拶で始まり来賓の方々のご臨席をたまり紹介と挨拶を頂きました。議案①平成20年度事業報告、収支決算について
②平成21年度計画、収支決算について
いずれも原案通り承認されました。続いて欠員となっていました副会長選任において新副会長が承認されました。

総会終了後、相模原商工会議所会頭河本洋次様を講師として「相模原の産業振興について」と題して講演して頂きました。これからの相模原の道標を自分の経験をお話ししながら講演なされました。その後青年部、青工研の方々のご出席を頂き懇親会を開催しました。意見の交換、又一人ひとりの自己紹介により親近感を得ることが出来ました。

講演をする会頭



道州制について 学びましょう!

本間 セツ

風薫る5月20日(水)の午後、研修委員会担当の事業として“道州制”についての勉強会を行いました。講師には、10年以上も前から道州制を提唱してこられた本間俊三さんをお招きし、20名ほどの会員が熱心に耳を傾けました。

8月の衆議院の解散間近に道州制という言葉がマニフェストの中に盛り込まれたりしましたが、この事業を計画した頃はまだまだあまり耳慣れず、講師の本間さんも女性会が“道州制”を取り上げたことに驚いていらっしゃいました。道州制の定義は、行政企画として道と州を置く地方

行政制度で、北海道以外の地域に複数の州を設置し、それらの道州に現在の都道府県より高い行政権を与える構想を指すという。言い換えれば、中央に集中し過ぎた権限や財源や人材等を地方に移譲することによって地方の活性化を目指すもので、さまざまな角度から映像を使って分かり易く説明していただきました。

地方と都市の格差を目の当たりにしている私たちも、道州制についての知識を得、まだまだ1合目辺りにあるというこの制度が、議論を重ねて確立され、より良い行政制度が施行される日が来ることを期待したいと思いました。

先がけて勉強しました

